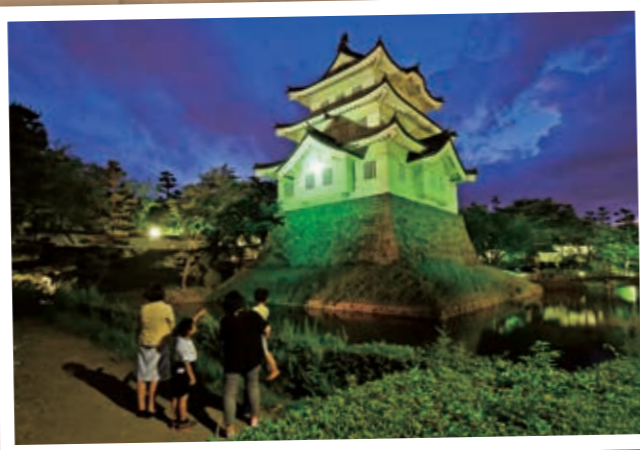


黄緑色にライトアップされた忍城で「禁煙週間」をPR

5月31日から6月6日までの「禁煙週間」に合わせ、市と行田市医師会により忍城が黄緑色にライトアップされました。

これは、望まない受動喫煙を防ぐための啓発活動として実施したものです。期間中、通行人が足を止め、いつもと違う忍城の様子を写真に収めていました。



夏に向け沿道も色鮮やかに

6月13日、市内で米麦、花き、野菜などさまざまな農業を営む若手農業者で組織している農業青年会議所の会員らが水城公園周辺で花の植え込み作業を行いました。

この日、用意された花は黄色い花のルドベキアをはじめ7種類、約2,400鉢。水城公園東側園地から行田市民プール脇までの花壇を会員の皆さんが慣れた手つきで植え、沿道は色鮮やかな夏の様相となりました。



「まいこまいこ 米娘舞娘」が新曲でクビアカツヤカミキリの注意喚起

6月11日、市内の小・中学生5人組のユニットとして活動している「米娘舞娘」が市役所を訪れ、新曲「クビアカツヤカミキリを捕まえろ!!」を披露しました。

行田のサクラを守るため、この特定外来種の駆除を呼び掛けている工藤市長は「歌とダンスでのPRはとても効果的」とかわいく強い味方の登場に大きな期待を寄せていました。



開花期直前の古代蓮の里をきれいに清掃

6月9日、古代蓮の里で行田市シルバー人材センターの会員による清掃活動が行われました。

この活動は、美しい公園で来場者を迎えるため、古代蓮の開花を直前に控えたこの時期に地域貢献の一環として平成10年から毎年実施されています。この日、会員約100人が参加し、駐車場や園内の花壇などを中心に草取りやごみ拾いを行いました。気温30度を超えた中で、会員の皆さんは、作業後汗をかいた体に水分を補給し、きれいになった公園に満足していました。



潮風を感じながら歩いて体力づくり

6月10日、行田市スポーツ推進委員協議会主催の「大洗・那珂湊ウォーキング」が開催されました。

茨城県東茨城郡大洗町の大洗マリントワーを出発した73人の参加者は、同県ひたちなか市的那珂湊おさかな市場を目指しウォーキング。海岸に沿って北上する約7キロメートルのコースを歩き、潮風を感じながら体力づくりを行いました。



きれいに咲いてね ホテイアオイ

6月6日、水城公園あおいの池で、南小学校の3年生38人によるホテイアオイの苗の投げ込みが行われました。

児童たちの様子はさまざまで、ホテイアオイの苗を少しでも遠くへ飛ばそうとする子や岸辺にそっと優しく落とす子もいて、用意された5,000株の苗はあっという間に池の中へ投げ込まれました。夏の日差しを受け大きく成長したホテイアオイが、9月頃に池一面を薄紫色に染めることでしょう。



大輪の菊花が咲く秋を楽しみに

6月5日、郷土博物館前で「行田市菊花連絡協議会」による菊苗の無料配布が行われました。

午前9時の配布開始に合わせ、たくさんの方が長い列を作り、わずか1時間足らずで約3,000鉢の菊苗が全て手渡されました。この菊苗がそれぞれの家庭で精魂込めて育てられ、大輪の花を咲かす秋が今から楽しみです。



世界最大の田んぼアートの豊作とさらなる飛躍を願って

6月16・17日に11年目を迎えた田んぼアートの田植えが約1,000人の参加者によって行われました。

今年の田んぼアートは「大いなる翼とナスカの地上絵」をテーマに世界最大の飛ぶ鳥「コンドル」がナスカの地上絵（ハチドリとコンドル）の上で大きな翼を広げる様子を、毎年描かれている「行田蓮」とともに表現。7月中旬から見ごろを迎える世界最大の田んぼアートは今年も多くの人の目を楽しませてくれる事でしょう。

